

アーチルニュース ちえなっぶ 第33号

《今号の内容》

- ①『地域活動推進センター』って
どんなところ？
- ②地域活動推進センター
『ほっとスペース歩^ほ歩^ほ』
取材レポート

※アーチルは「仙台市発達相談支援センター」の愛称です。子供から大人まで、発達障害のある方の支援を行っています。
※ちえなっぶは「CHIN UP! (前を向いて)」の意味です。

「あったらいいな」を形に…

アーチルが開所して、まもなく20年目を迎えます。開所当初まだあまり知られていなかった「発達障害」という言葉は、発達障害者支援法施行(平成17年)、特別支援教育の実施(平成19年)等発達障害児者に対する様々な支援施策が行われたこと、またメディアで発達障害を取り上げる機会が増えたこと等から、この20年間の中で多くの人に知られるようになりました。

アーチルでは開所当初から、ご本人・ご家族の「こうありたい」という思いを中心に、相談支援を行ってきました。また相談支援の中で受け止めた、ご本人やご家族が望む「あったらいいな」の実現に向けて、ご本人・ご家族や地域の支援者等と協働して様々なネットワーク形成や社会資源の創出にも取り組んできました。今回特集する「地域活動推進センター」もその一つです。

「働きたいが、一歩が踏み出せない」、「就労前の支援をしてくれるところが欲しい」というご本人の声を受けて、発達障害のある方に就労前支援等を行う施設として、平成18年度に「ほっとスペース歩^ほ歩^ほ」と「ここねっとデイ」、翌年度に「アクティブ・デイ」が創出されました。この三つの地域活動推進センターと自閉症児者相談センター、南北アーチルとが集まり、支援についての情報共有や課題検討等を行う連絡会も重ねてきています。今後も「あったらいいな」を形にする取り組みを、ご本人・ご家族、支援者、地域住民等と協働して進めていきたいと思ひます。

北部アーチル所長 鷲森武夫

特集記事1 『地域活動推進センター』ってどんなところ？

地域活動推進センターでは、発達障害がある成人期の方を対象に、日中活動に関するさまざまなサービスを提供しています。「家庭以外にも、安心して過ごせる居場所が欲しい」、「相談でき、仲間と集える場がほしい」というご本人やご家族の願いを実現するために立ち上げられました。

日常生活の困りごとを相談したり、小集団の仲間と余暇活動を楽しんだり、就労に向けた準備をしたりと、個々のニーズに合った支援を受けることができます。

地域活動推進センターは仙台市内に3箇所あります。各NPO法人が、それぞれの強みを活かして活動しています。

『ここねっとデイ』

若林区石名坂

就労前支援や余暇活動に加え、トークセッションという独自の活動を行っています。利用者自らがテーマを選び、テーマごとにグループで語り合う活動です。

『アクティブ・デイ』

宮城野区高砂

調理活動やクラフト、農作業、パソコン講習など、さまざまなプログラムから自分にあった活動を選択することができます。家庭的な雰囲気特徴的なセンターです。

『ほっとスペース歩^ほ歩^ほ』

泉区南中山

日常生活支援に力を入れています。小規模のグループ活動や、ソーシャルスキルトレーニングによる就労への意識付け、コミュニケーションスキルの訓練などを行っています。

裏面に地域活動推進センター『ほっとスペース歩^ほ歩^ほ』（ほぼ）の取材レポートも掲載しております。

特集記事2 地域活動推進センター 『ほっとスペース歩° 歩°』取材レポート

令和2年12月22日、仙台市泉区南中山の地域活動推進センター『ほっとスペース歩° 歩°』にて、施設長の佐藤さんから貴重なお話を伺うことができました。その一部をご紹介します。



この日は、地図とサイコロを使った宝探しゲームをみなさんで楽しんでいました！



様々な意見や推理が飛び交い、和やかなながらも活気のある雰囲気でした。

●ほっとスペース歩° 歩° って、どんなところ？

発達障害のある方を対象に、社会体験活動と就労体験の場を提供しています。具体的には、生活に必要なスキルを高めるため職員と一緒に調理に取り組んだり、食器洗浄やメール便配函などの就労体験を行ったりしています。また、少人数の仲間とゲームや外出を楽しむなどの余暇活動支援も行っています。

●就労に向けた支援について

就労に向けた支援は、地域活動推進センターの大きな役割の1つです。ほっとスペース歩° 歩° では、就労に向けて、「心のエネルギーを蓄える」お手伝いをします。自己肯定感や自信を回復して心のエネルギーを蓄えられるように、自分自身についてより理解を深めたり、仲間とのかかわりを楽しんだりする機会を提供しています。

●支援するうえで大切にしていること

生活するうえで生じる様々な困りごとは、状況・環境の変化に伴い、変わるものです。だからこそ、目の前の課題のみを解決して支援を終えるのではなく、困ったときにいつでも相談できる場でありたいと考えています。その方の生活に伴走するように、切れ目のない支援を提供できるよう心掛けています。

ほっとスペース歩° 歩° は、『あったらいいなのサービスづくり』という言葉をもっとにしています。卒にとらわれず、その方が本当に必要としている支援をこれからも行っていきます。

《編集後記》

佐藤さんのお話の中で、「自立の種類は就労だけじゃない」という言葉が強く印象に残っています。ご本人の「こんな暮らしがしたい」という思いに寄り添うことが、支援においてとても大切なことであると改めて感じました。【W】

《連絡先》

仙台市北部発達相談支援センター（北部アーチル）電話：022-375-0110

仙台市南部発達相談支援センター（南部アーチル）電話：022-247-3801

《ホームページ》 <http://www.city.sendai.jp/kenkou/hattatsu/gaiyou/> もしくは「アーチル」で検索

※この広報紙についてのご意見・お問い合わせは上記の北部アーチルまでお願いします。